

土木工事標準歩掛訂正項目一覧（字句の訂正：平成20年10月15日付事務連絡）

	該 当 項 目		頁	訂 正 箇 所	訂 正 理 由	
標準歩掛	第3章 共通工	④擁壁工	2. 井桁ブロック積工	88	(4) 機械運転単価表	語句の訂正
		⑤連続地中壁工	2. 連続地中壁工（柱列式）	107	表2.3 連続壁10セット当たり準備日数等	語句の訂正
	第4章 基礎工	②場所打杭工	1. オルケーシング工・硬質地盤オルケーシング工	216	(2) 機械運転単価表	語句の訂正
			2. リバースサーキュレーション工	220	2-5 杭1本当りコンクリート使用量	語句の訂正
			5. ダウンガールハンマ工	235	表5.1 機種を選定（A工法）	語句の訂正
	第6章 仮設工	①鋼矢板（H形鋼）工（パイロハンマ工・油圧圧入引抜工）	2. 油圧圧入引抜工	303	2-1 適用範囲	語句の訂正
	第7章 河川海岸	①消波根固めブロック工		357	表4.5 ロス率	語句の訂正
	第10章 地すべり防止工	①地すべり防止工	1. 集水井工	462	(6) 機械運転単価表	指定事項の訂正
			2. 集排水ホーリング工	465	2-5-4 保孔管材料	語句の訂正
			3. 山腹水路工	478	(8) 機械運転単価表	指定事項の訂正
	第11章 道路舗装	②アスファルト舗装工		492	(2) 人力施工100m ² ・1層当り単価表	語句の訂正
	第12章 道路付属施設	⑦洞門工（プレキャスト製シェット）		544	11-2 材料使用量	語句の訂正
	第16章 橋梁	②鋼橋架設工		848	(2) シート張防護工	語句の訂正
				851	(1) 支承据付工1基当り単価表（ゴム支承）	語句の訂正
⑩PC橋片持架設工			911	6. 支承工	語句の訂正	
参考資料	Ⅱ. 機械運転単価表		966	機-32	表の追加	

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	擁壁工(井桁ブロック積工)		作成年月	平成20年10月																			
ページ	誤	正			摘要																		
88	(4) 機械運転単価表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">コンクリートポンプ車</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ブーム式90~110m³/h</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">機-3</td> <td>機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~100m³/h) 運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~100m ³ /h) 運転労務数量→0.14	機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	(4) 機械運転単価表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 60%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">コンクリートポンプ車</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ブーム式90~110m³/h</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">機-3</td> <td>機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m³/h) 運転労務数量→0.14</td> </tr> <tr> <td>機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h</td> </tr> </tbody> </table>			機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~ 110m³/h) 運転労務数量→0.14	機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																				
コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~100m ³ /h) 運転労務数量→0.14																				
			機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																				
コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~ 110m³/h) 運転労務数量→0.14																				
			機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単位→m・h 数量→L×1h																				

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	連続地中壁工(柱列式)		作成年月	平成20年10月				
ページ	誤	正						
107	<p>(1) 連続壁10セット当り準備日数等 (Ts)</p> <p>準備日数等は、準備(整備足場作り、掘削機移動設置、芯出し)、ロッド継足、ターニングの日数で、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 連続壁10セット当り準備日数等 (Ts) (日/10セット)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">準備日数等</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">$0.87+0.52n_s$</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">n_s: ロッド(3軸1組)継足回数(1セット当り)</p>	準備日数等	$0.87+0.52n_s$	<p>(1) 連続壁10セット当り準備日数等 (Ts)</p> <p>準備日数等は、準備(整備足場作り、掘削機移動設置、芯出し)、ロッド継足、ターニングの日数で、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 連続壁10セット当り準備日数等 (Ts) (日/10セット)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">準備日数等</td> <td style="padding: 2px; text-align: center;">$0.87+0.52n_s$</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">n_s: ロッド(3軸1組)継足回数(1セット当り)</p>	準備日数等	$0.87+0.52n_s$		
準備日数等	$0.87+0.52n_s$							
準備日数等	$0.87+0.52n_s$							
				摘要				

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	場所打杭工(オールケーシング工・硬質地盤用オールケーシング工)		作成年月	平成20年10月																																																																					
ページ	誤	正			摘要																																																																				
216	<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">揺 動 式</td> <td>揺 動 式 オールケーシング掘削機</td> <td></td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全 回 転 式</td> <td>全 回 転 式 オールケーシング掘削機</td> <td>φ1,500mm</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>全 回 転 式 オールケーシング掘削機</td> <td>φ2,000mm</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	機 械 名	規 格	数 量	摘 要	揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48	全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ2,000mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60	<p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">揺 動 式</td> <td>揺 動 式 オールケーシング掘削機</td> <td></td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全 回 転 式</td> <td>全 回 転 式 オールケーシング掘削機</td> <td>φ1,500mm</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>全 回 転 式 オールケーシング掘削機</td> <td>φ2,000mm</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48	全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ2,000mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60	
工 法	機 械 名	規 格	数 量	摘 要																																																																					
揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40																																																																					
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29																																																																					
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48																																																																					
全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45																																																																					
	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ2,000mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45																																																																					
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38																																																																					
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60																																																																					
工 法	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																					
揺 動 式	揺 動 式 オールケーシング掘削機		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械損料数量→1.40																																																																					
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.29																																																																					
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→33 機械損料数量→1.48																																																																					
全 回 転 式	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ1,500mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→75 機械損料数量→1.45																																																																					
	全 回 転 式 オールケーシング掘削機	φ2,000mm	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→103 機械損料数量→1.45																																																																					
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.38																																																																					
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃	運転労務数量→0.80 燃料消費量→34 機械損料数量→1.60																																																																					

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	場所打杭工(リバースサーキュレーション工)		作成年月	平成20年10月					
ページ	誤	正			摘要				
220	<p>2-5 杭1本当りコンクリート使用量 杭1本当りに必要なコンクリート使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + \beta) \quad (\text{m}^3/\text{本})$ <p>Q : 杭1本当りコンクリート使用量 (") D : 設計杭径 (m) L : 設計杭長 (") K : コンクリートロス率</p> <p>コンクリート量のロス (ロス+杭頭処理部分を含む) は次表とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;"> <caption>表2.7 コンクリートのロス率(K)</caption> <tr> <td>ロス率 (K)</td> <td>+0.12</td> </tr> </table>	ロス率 (K)	+0.12	<p>2-5 杭1本当りコンクリート使用量 杭1本当りに必要なコンクリート使用量は、次式による。</p> $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + \mathbf{K}) \quad (\text{m}^3/\text{本})$ <p>Q : 杭1本当りコンクリート使用量 (") D : 設計杭径 (m) L : 設計杭長 (") K : コンクリートロス率</p> <p>コンクリート量のロス (ロス+杭頭処理部分を含む) は次表とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;"> <caption>表2.7 コンクリートのロス率(K)</caption> <tr> <td>ロス率 (K)</td> <td>+0.12</td> </tr> </table>	ロス率 (K)	+0.12			
ロス率 (K)	+0.12								
ロス率 (K)	+0.12								

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	場所打ち杭工(ダウンザホールハンマ工)		作成年月	平成20年10月																																																			
ページ	誤	正			摘 要																																																		
235	<p style="text-align: center;">表5.1 機種を選定(A工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 50%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 用 ク レ ーン</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図5-2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭の建込みは, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型25 t 吊)を標準とするが, 現場条件によりこれにより難い場合は, 別途考慮する。 2. 機械の移動については, 自走を標準とする。 3. 掘削用クレーンの組立(リーダ, 減速機の取付け)解体時については, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型25 t 吊)を標準とするが, 現場条件によりこれにより難い場合は, 別途考慮する。 4. <u>ラフテレーンクレーン</u>, 空気圧縮機は賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 用 ク レ ーン		台	1	図5-2, 表5.3	ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ		〃	1	表5.4	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5	ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	〃	1	鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用	<p style="text-align: center;">表5.1 機種を選定(A工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 50%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 削 用 ク レ ーン</td> <td></td> <td>台</td> <td>1</td> <td>図5-2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>必要台数</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鋼管杭, H形鋼杭の建込みは, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型25 t 吊)を標準とするが, 現場条件によりこれにより難い場合は, 別途考慮する。 2. 機械の移動については, 自走を標準とする。 3. 掘削用クレーンの組立(リーダ, 減速機の取付け)解体時については, ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型25 t 吊)を標準とするが, 現場条件によりこれにより難い場合は, 別途考慮する。 4. 空気圧縮機は賃料とする。</p>			機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	掘 削 用 ク レ ーン		台	1	図5-2, 表5.3	ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ		〃	1	表5.4	空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5	ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	〃	1	鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用	語句削除
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																			
掘 削 用 ク レ ーン		台	1	図5-2, 表5.3																																																			
ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ		〃	1	表5.4																																																			
空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5																																																			
ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	〃	1	鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用																																																			
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																			
掘 削 用 ク レ ーン		台	1	図5-2, 表5.3																																																			
ダウ ン ザ ホ ール ハ ン マ		〃	1	表5.4																																																			
空 気 圧 縮 機		〃	必要台数	表5.5																																																			
ラ フ テ レ ー ン ク レ ーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	〃	1	鋼管杭・H形鋼杭建込用 掘削機組立・解体用																																																			

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	鋼矢板(H形鋼)工(油圧圧入引抜工)		作成年月	平成20年10月	
ページ	誤	正			
303	<p>2-1 適用範囲</p> <p>油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 ($N_{max} \leq 50$) 及び、引抜きに適用する。</p> <p>なお、継矢板の施工法は、先行する鉄矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。</p> <p>油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500mmを標準とする。</p> <p>また、鋼矢板型式毎の圧入長(引抜き長)の適用範囲は、表2.1のとおりとし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p>	<p>2-1 適用範囲</p> <p>油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 ($N_{max} \leq 50$) 及び、引抜きに適用する。</p> <p>なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。</p> <p>油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500mmを標準とする。</p> <p>また、鋼矢板型式毎の圧入長(引抜き長)の適用範囲は、表2.1のとおりとし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p>			摘 要

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	消波根固めブロック工		作成年月	平成20年10月									
ページ	誤	正											
357	<p>4-3-4 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K) K:ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.5 ロス率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">材 料</th> <th style="width: 50%;">ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">コ ン ク リ ー ト</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場練りコンクリートを使用する場合も、上表の補正係数を用いてもよい。</p>	材 料	ロ ス 率	コ ン ク リ ー ト	0.01	<p>4-3-4 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K) K:ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.5 ロス率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">材 料</th> <th style="width: 50%;">ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">コ ン ク リ ー ト</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場練りコンクリートを使用する場合も、上表のロ ス率を用いてもよい。</p>	材 料	ロ ス 率	コ ン ク リ ー ト	0.01			摘 要
材 料	ロ ス 率												
コ ン ク リ ー ト	0.01												
材 料	ロ ス 率												
コ ン ク リ ー ト	0.01												

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	地すべり防止工(集水井工)			作成年月	平成20年10月																																																
ページ	誤	正			摘要																																																
462	(6) 機械運転単価表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル</td> <td>油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41</td> </tr> <tr> <td>ク ロ ー ラ ク レ ー ン</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>機-27</td> <td>燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ</td> <td>電動式・クローラ型山積0.022m³ (平積0.015m³)</td> <td>機-25</td> <td>(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>簡 易 や ぐ ら</td> <td>鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 2t積, 2.9t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41	ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-27	燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47	小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40	簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積, 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20	(6) 機械運転単価表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル</td> <td>油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41</td> </tr> <tr> <td>ク ロ ー ラ ク レ ー ン</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td style="color: red;">機-28</td> <td style="color: red;">運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ</td> <td>電動式・クローラ型山積0.022m³ (平積0.015m³)</td> <td>機-25</td> <td>(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40</td> </tr> <tr> <td>簡 易 や ぐ ら</td> <td>鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付</td> <td>機-25</td> <td>機械損料数量→1.43</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 2t積, 2.9t吊</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41	ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47	小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40	簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積, 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																		
ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41																																																		
ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-27	燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47																																																		
小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40																																																		
簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43																																																		
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積, 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																		
ク ラ ム シ ェ ル	油圧クラムシエルテレスコピック式 クローラ型平積0.4m ³	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 賃料数量→1.41																																																		
ク ロ ー ラ ク レ ー ン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 (A工法)→15 (B工法)→20 (昇降用設備・井戸蓋)→17 賃料数量→1.47																																																		
小 型 バ ッ ク ホ ウ	電動式・クローラ型山積0.022m ³ (平積0.015m ³)	機-25	(B工法) 機械損料数量→1.47 (C工法) 機械損料数量→1.40																																																		
簡 易 や ぐ ら	鋼管φ60.5×4.0m 2.0t吊 モータウインチ付	機-25	機械損料数量→1.43																																																		
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 2t積, 2.9t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→1.20																																																		

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	地すべり防止工(集排水ボーリング工)		作成年月	平成20年10月																																					
ページ	誤	正			摘要																																				
465	<p>2-5-4 保孔管材料</p> <p>1) 保孔管の使用区分は、VP管を標準とするが、活動中の地すべり地区等で、挿入後せん断、よじれ等により保孔管破損のおそれのある場合はSGP管とする。</p> <p>2) 保孔管の使用量は、次式による。 使用量=挿入長×(1+ロス率)</p> <p style="text-align: center;">表2.8 補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地 表</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.03</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.04</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">集 水 井 内</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.06</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.08</td> </tr> </tbody> </table>	施工場所	名称	規格	ロス率	地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04	集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08	<p>2-5-4 保孔管材料</p> <p>1) 保孔管の使用区分は、VP管を標準とするが、活動中の地すべり地区等で、挿入後せん断、よじれ等により保孔管破損のおそれのある場合はSGP管とする。</p> <p>2) 保孔管の使用量は、次式による。 使用量=挿入長×(1+ロス率)</p> <p style="text-align: center;">表2.8 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地 表</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.03</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.04</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">集 水 井 内</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.06</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.08</td> </tr> </tbody> </table>	施工場所	名称	規格	ロス率	地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04	集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08			
施工場所	名称	規格	ロス率																																						
地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03																																						
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04																																						
集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06																																						
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08																																						
施工場所	名称	規格	ロス率																																						
地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03																																						
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04																																						
集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06																																						
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08																																						

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	地すべり防止工(山腹水路工)			作成年月	平成20年10月																																
ページ	誤	正			摘要																																
478	<p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (集水樹工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56 </td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積</td> <td style="text-align: center;">機-28</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66 </td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (集水樹工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-1		バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56	不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66	<p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">適用単価表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (集水樹工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56 機械損料数量→1.56 </td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積</td> <td style="text-align: center;">機-28</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66 </td> </tr> </tbody> </table>			機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ (集水樹工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-1		バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56 機械損料数量→1.56	不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																		
バックホウ (集水樹工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-1																																			
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56																																		
不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																		
バックホウ (集水樹工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-1																																			
バックホウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型 クローラ型・クレーン機能付き 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力2.9t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45 賃料数量→1.56 機械損料数量→1.56																																		
不整地運搬車	排出ガス対策型 油圧ダンブ式・クローラ型2.5t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→4.6 賃料数量→1.66																																		

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	アスファルト舗装工		作成年月	平成20年10月																																																																																																														
ページ	誤	正	摘要																																																																																																															
492	<p>(2) 人力施工 舗装工 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表4.2×100/D</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+補正係数)</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>日</td> <td>表4.1×100/D</td> <td>表4.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>振動コンバクタ運転</td> <td>40~60kg</td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>砂散布費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4 必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3	特殊作業員		"	" ×100/D	" "	普通作業員		"	" ×100/D	" "	アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+補正係数)	表3.4	瀝青材料		・		表3.5	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3	振動コンバクタ運転	40~60kg	"	" ×100/D	" "	砂散布費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	諸雑費		"	1	表4.5	計					<p>(2) 人力施工 舗装工 100m²・1層当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表4.2×100/D</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m³)×(1+ロス率)</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>瀝青材料</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>日</td> <td>表4.1×100/D</td> <td>表4.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>振動コンバクタ運転</td> <td>40~60kg</td> <td>"</td> <td>" ×100/D</td> <td>" "</td> </tr> <tr> <td>砂散布費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4 必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3	特殊作業員		"	" ×100/D	" "	普通作業員		"	" ×100/D	" "	アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ ロス率)	表3.4	瀝青材料		・		表3.5	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3	振動コンバクタ運転	40~60kg	"	" ×100/D	" "	砂散布費		式	1	表4.4 必要に応じ計上	諸雑費		"	1	表4.5	計						
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																														
世話役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3																																																																																																														
特殊作業員		"	" ×100/D	" "																																																																																																														
普通作業員		"	" ×100/D	" "																																																																																																														
アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+補正係数)	表3.4																																																																																																														
瀝青材料		・		表3.5																																																																																																														
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3																																																																																																														
振動コンバクタ運転	40~60kg	"	" ×100/D	" "																																																																																																														
砂散布費		式	1	表4.4 必要に応じ計上																																																																																																														
諸雑費		"	1	表4.5																																																																																																														
計																																																																																																																		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																														
世話役		人	表4.2×100/D	表4.2, 表4.3																																																																																																														
特殊作業員		"	" ×100/D	" "																																																																																																														
普通作業員		"	" ×100/D	" "																																																																																																														
アスファルト混合物		t	100×厚さ(mm)/1,000×締固め後密度(t/m ³)×(1+ ロス率)	表3.4																																																																																																														
瀝青材料		・		表3.5																																																																																																														
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	日	表4.1×100/D	表4.1, 表4.3																																																																																																														
振動コンバクタ運転	40~60kg	"	" ×100/D	" "																																																																																																														
砂散布費		式	1	表4.4 必要に応じ計上																																																																																																														
諸雑費		"	1	表4.5																																																																																																														
計																																																																																																																		

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	洞門工(プレキャスト製シェッド)		作成年月	平成20年10月																
ページ	誤	正																		
544	<p>11-2 材料使用量</p> <p>防水材料の使用量は、次式による。</p> <p>なお、防水工設置材料は、必要数量計上する。</p> <p>使用量=設計量×(1+K)</p> <p>K：補正係数</p> <p style="text-align: center;">表11.2 補正係数 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>補 正 係 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防 水 ゴ ム</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>防 水 シ ー ト</td> <td style="text-align: center;">+0.01</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ア ッ プ 材</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	補 正 係 数	防 水 ゴ ム	0	防 水 シ ー ト	+0.01	パ ッ ク ア ッ プ 材	+0.05	<p>11-2 材料使用量</p> <p>防水材料の使用量は、次式による。</p> <p>なお、防水工設置材料は、必要数量計上する。</p> <p>使用量=設計量×(1+K)</p> <p>K：<u>ロス率</u></p> <p style="text-align: center;">表11.2 <u>ロス率</u> (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th><u>ロ ス 率</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防 水 ゴ ム</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>防 水 シ ー ト</td> <td style="text-align: center;">+0.01</td> </tr> <tr> <td>パ ッ ク ア ッ プ 材</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	<u>ロ ス 率</u>	防 水 ゴ ム	0	防 水 シ ー ト	+0.01	パ ッ ク ア ッ プ 材	+0.05		
材 料 名	補 正 係 数																			
防 水 ゴ ム	0																			
防 水 シ ー ト	+0.01																			
パ ッ ク ア ッ プ 材	+0.05																			
材 料 名	<u>ロ ス 率</u>																			
防 水 ゴ ム	0																			
防 水 シ ー ト	+0.01																			
パ ッ ク ア ッ プ 材	+0.05																			

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	鋼橋架設工		作成年月	平成20年10月																																																																							
ページ	誤	正	摘要																																																																								
848	<p>(2) シート張防護工</p> <p>鋼橋塗装において塗装飛散を防止する必要がある場合とし、1-13-1足場工費に別途計上する。</p> <p>シート張防護工費 = {L₁ + L₂T₈ + N₁y (組立) + N₂y (解体)} × A (円)</p> <p>L₁L₂ : 損料係数 (表1.25) T₈ : 防護部を供用している月数 N₁ : 組立歩掛係数 (表1.25) N₂ : 解体歩掛係数 (表1.25) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 防護工必要橋面積 (m²) A = 全幅員 × 必要長</p>	<p>(2) シート張防護工</p> <p>鋼橋塗装において塗装飛散を防止する必要がある場合とし、1-13-1足場工費に別途計上する。</p> <p>シート張防護工費 = {L₁ + L₂T₈ + N₁y (組立) + N₂y (解体)} × A (円)</p> <p>L₁L₂ : 損料係数 (表1.25) T₈ : 防護部を供用している月数 N₁ : 組立歩掛係数 (表1.25) N₂ : 解体歩掛係数 (表1.25) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 防護工必要橋面積 (m²) A = 全幅員 × 必要長</p>																																																																									
851	<p>1-16 単価表及び内訳表</p> <p>(1) 支承据付工1基当り単価表 (ゴム支承)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_n × 1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_n × 5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_n × 1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>沓 据 付 材 料</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_n : 1日当り据付基数 (表1.4)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	1/D _n × 1	表1.4	橋 梁 特 殊 工		"	1/D _n × 5	"	普 通 作 業 員		"	1/D _n × 1	"	沓 据 付 材 料		式	1	必要数量計上	諸 雑 費		"	1	表1.4	計					<p>1-16 単価表及び内訳表</p> <p>(1) 支承据付工1基当り単価表 (ゴム支承)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_n × 1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_n × 5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_n × 1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>支 承 据 付 材 料</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>"</td> <td>1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_n : 1日当り据付基数 (表1.4)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	1/D _n × 1	表1.4	橋 梁 特 殊 工		"	1/D _n × 5	"	普 通 作 業 員		"	1/D _n × 1	"	支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上	諸 雑 費		"	1	表1.4	計							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
橋 梁 世 話 役		人	1/D _n × 1	表1.4																																																																							
橋 梁 特 殊 工		"	1/D _n × 5	"																																																																							
普 通 作 業 員		"	1/D _n × 1	"																																																																							
沓 据 付 材 料		式	1	必要数量計上																																																																							
諸 雑 費		"	1	表1.4																																																																							
計																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
橋 梁 世 話 役		人	1/D _n × 1	表1.4																																																																							
橋 梁 特 殊 工		"	1/D _n × 5	"																																																																							
普 通 作 業 員		"	1/D _n × 1	"																																																																							
支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上																																																																							
諸 雑 費		"	1	表1.4																																																																							
計																																																																											

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	PC橋片持架設工		作成年月	平成20年10月																																																																		
ページ	誤	正			摘 要																																																																	
911	<p>6. 支 承 工</p> <p>6-1 金属支据付工</p> <p>金属支据付工歩掛は、支承質量により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 鋼製支据付工歩掛 (1個当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">支 承 質 量</th> </tr> <tr> <th>4 t 未満</th> <th>4 t 以上10 t 未満</th> <th>10 t 以上17 t 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">5.3</td> <td style="text-align: center;">6.6</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> <td style="text-align: center;">3.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に無収縮モルタル充填等の作業は含まれる。 2. 支据付材料(無収縮モルタル等)は別途計上する。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型45t吊を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。</p>	名 称	単位	支 承 質 量			4 t 未満	4 t 以上10 t 未満	10 t 以上17 t 未満	橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5	橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6	型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7	普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5	ラフテレーンクレーン 運	日	0.7	1.1	1.5	<p>6. 支 承 工</p> <p>6-1 金属支据付工</p> <p>金属支据付工歩掛は、支承質量により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 金属支据付工歩掛 (1個当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">支 承 質 量</th> </tr> <tr> <th>4 t 未満</th> <th>4 t 以上10 t 未満</th> <th>10 t 以上17 t 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> <td style="text-align: center;">5.3</td> <td style="text-align: center;">6.6</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> <td style="text-align: center;">3.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に無収縮モルタル充填等の作業は含まれる。 2. 支据付材料(無収縮モルタル等)は別途計上する。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型45t吊を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。</p>	名 称	単位	支 承 質 量			4 t 未満	4 t 以上10 t 未満	10 t 以上17 t 未満	橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5	橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6	型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7	普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5	ラフテレーンクレーン 運	日	0.7	1.1	1.5		
名 称	単位			支 承 質 量																																																																		
		4 t 未満	4 t 以上10 t 未満	10 t 以上17 t 未満																																																																		
橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5																																																																		
橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6																																																																		
型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7																																																																		
普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5																																																																		
ラフテレーンクレーン 運	日	0.7	1.1	1.5																																																																		
名 称	単位	支 承 質 量																																																																				
		4 t 未満	4 t 以上10 t 未満	10 t 以上17 t 未満																																																																		
橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5																																																																		
橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6																																																																		
型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7																																																																		
普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5																																																																		
ラフテレーンクレーン 運	日	0.7	1.1	1.5																																																																		

土木工事標準歩掛(正誤表)

工種名	機械運転単価表			作成年月	平成20年10月																														
ページ	誤	正			摘要																														
966		<p>機-32 運転 1 日 当 り 単 価 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 耗 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		0			機 械 損 料		供用日	1.4		損 耗 費		〃	1.4		諸 雑 費		式	1		計					追加
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																															
燃 料 費		0																																	
機 械 損 料		供用日	1.4																																
損 耗 費		〃	1.4																																
諸 雑 費		式	1																																
計																																			